

JR東日本カップ2012第86回関東大学サッカーリーグ

後期日程

前期終了時点順位表

第12節 9/16(日)vs 亜細亜大学 11:30 kick off

@日立市民運動公園陸上競技場

第13節 9/22(土)vs 平成国際大学 11:30kick off

@熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

第14節 9/30(日)vs 青山学院大学 11:30kick off

@青山学院大学緑ヶ丘グラウンド

第15節 10/7(日)vs 日本大学 13:50kick off

@法政大学城山サッカー場

第16節 10/14(日)vs 朝鮮大学 13:50kickoff

@朝鮮大学校グラウンド

第17節 10/21(日)vs 拓殖大学 13:50kick off

@法政大学城山サッカー場

第18節 10/28(日)vs 桐蔭横浜大学 13:50kick off

@駒沢オリンピック公園補助グラウンド

第19節 11/3(土)vs 関東学院大学 11:30kick off

@古河市立古河サッカー場

第20節 11/10(土)vs 東海大学 13:50kick off

@古河市立古河サッカー場

第21節 11/18(日)vs 東洋大学 13:50kick off

@古河市立古河サッカー場

第22節 11/24(土)vs 法政大学 11:30kick off

@駒沢オリンピック公園第二球技場

順位	チーム名	勝ち点	勝数	分数	負数	得失点差
1	東洋大	28	9	1	1	21
2	桐蔭横浜大	22	7	1	3	12
3	駒澤大	21	6	3	2	10
4	法政大	18	5	3	3	11
5	関東学院大	15	4	3	4	-3
6	青山学院大	14	4	2	5	-5
7	東海大	13	4	1	6	-1
8	朝鮮大	13	4	1	6	-9
9	平成国際大	13	4	1	6	-11
10	亜細亜大	11	2	5	4	-7
11	拓殖大	10	2	4	5	-5
12	日本大	7	2	1	8	-13

前期を3位で終えた駒大

昇格へ巻き返せ!

大臣杯でつかんだ自信

7月8日から行われた総理大臣杯。2部という立場から、見事全国大会への切符をもぎ取り、大阪の地で大健闘を見せた。3回戦で1部で優勝争いを繰り広げる筑波大を破るなど、結果は3位。あと一歩で優勝を逃した選手からは、悔しさがにじみ出ていたが、自分たちのサッカーに自信を得る成績であったことは間違いないだろう。

前期リーグ戦は、天王山だった首位攻防、第10節東洋大戦を落とし、結果的に3位に後退してしまっただけで、結果が1部への昇格権を得るため、ここからの巻き返しが不可欠だが、大臣杯で格上チーム相手に善戦したことで、チーム力は上がっている。自分たちの形を作っていくには、まずと

している。4ゴール2アシスト(ともにチーム最多タイ)は本人にとっては物足りない記録のほず。後期ではさらなる爆発を期待したい。

独走の東洋大、逆転優勝は

前期終了時点で2位に勝ち点差6をつけ、首位を独走する東洋大。30得点9失点とともにリーグトップの数字で、圧倒的強さで首位を走っている。開幕戦に敗れた後は10戦無敗で前期を駆け抜けた。今後も大崩れをするとは考え辛く、駒大が優勝するためには全勝またはそれに準ずる結果が必要だろう。ただ、駒大の前期は前半に引き分けが続いたことが後へと響いた。前半に下位チームとの対戦が続く後期、確実に勝利をものにしていくことが出来れば、まだまだチャンスはある。

勝利のカギを握る選手と言え、それは間違いない。湯澤洋介(政大)だろう。全国屈指のドリブラーとして相手を翻弄し、プロからも注目を集めるプレイヤー。大臣杯3回戦筑波大戦では、スーパーミドルを叩き込むなど、シュート力の高さも見せ、名実ともに駒大のエースとして君臨

今シーズンの目標は昇格・優勝。大臣杯で3位に入ったこともあり、チームにマークされる試合も多くなるはずだ。しかし、目標を達成するために絶対勝利が不可欠。この力では上回る駒大が、自らのペースでボールを回し、「横綱相撲」で相手を退けていくことが出来れば、リーグが終わった時、1番上のところに駒澤大学の名前があるのかもしれない。夏を終えてさらにたくましくなった選手たちに期待しよう

(森下和貴)